

最終化されるバーゼルⅢ 金融規制と資本性証券

つ

いにスタートを切る第二次トランプ政権。大きなテーマの1つとして注目されるのが規制緩和だ。金融関連では暗号資産、仮想通貨の分野への関心が高そうだが、銀行への資本規制も気にしておきたい。

さて、米金融危機等を受けて銀行が過度のリスクを取らないように、自己資本の質と量に関する規制を見直した「バーゼルⅢ」が公表されたのは2010年のこと。その算定にあたっての計算方法等は継続的に議論がされ、最終的な国際ルールが決定されたのは7年後の2017年。さらに細かな規制内容や導入スケジュールは、各国当局に任される形となった。日本では2023年3月より段階的に作業を進め、2025年3月に最終化を終える予定だが、カナダや豪州などは既に終えている。米国も2025年の見込

みだったが、2023年に公表された当初案が「厳しすぎる」として業界の反発を受け、綱引きが続いている状況だ。

下のリストは国際的に重要な金融機関として、通常の銀行より厳しい資本規制が課せられる銀行のリスト。米銀は数も多く、また上乗せ幅(≒重要度)も高い。規制の内容によっては、経済に与える影響も大きくなりそうだ。

規制に絡めて覚えておきたいのが、金融機関の発行する資本性証券。元本削減などの条件を付することにより、一定割合が金融規制上の資本として認められ、株式と債券の中間的な性格を持つ。リスクが高い分、同じ発行体の普通社債と比較すると高い利回りが期待できる。最低購入金額が大きく、やや複雑なタイプが多いものの、一般投資家でも購入可能なものもある。インカム志向の投資家であれば、押さえておきたい商品だ。

M

■ グローバルなシステム上重要な銀行のリスト (2024年11月時点)

上乗せ幅	銀行名	上乗せ幅	銀行名	上乗せ幅	銀行名
2.5%	JPモルガン・チェース 米国		ゴールドマン・サックス 米国		モルガン・スタンレー 米国
2.0%	シティグループ 米国		クレディ・アグリコル・グループ フランス		ロイヤル・バンク・オブ・カナダ カナダ
	HSBC イギリス	1.5%	中国工商銀行 中国		サンタンデール スペイン
1.5%	中国農業銀行 中国		三菱UFJフィナンシャル・グループ 日本		ソシエテ・ジェネラル フランス
	バンク・オブ・アメリカ 米国		UBS スイス	1.0%	スタンダード・チャータード イギリス
	中国銀行 中国		交通銀行 中国		ステート・ストリート 米国
	パークレイズ イギリス		バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 米国		三井住友フィナンシャルグループ 日本
	BNPパリバ フランス	1.0%	BPCEグループ フランス		トロント・ドミニオン カナダ
	中国建設銀行 中国		ING銀行 オランダ		ウェルズ・ファアゴ 米国
	ドイツ銀行 ドイツ		みずほフィナンシャルグループ 日本		

(出所)FSBの発表をもとに当社作成

債券運用のことなら、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券へ

当社はMUFJとモルガン・スタンレーとのジョイントベンチャーである強みを生かし、これまで多くの企業のグリーンボンド発行の実現をサポート、国内トップクラスの実績を誇っています。

新発債券を多数取り扱っていますので、お気軽にお取引店までご相談ください。

